

Syllabus Id	syl.-060034
Subject Id	sub-06044701
更新履歴	060401
授業科目名	データベースシステム[DBMS] Database Management System
担当教員名	大澤和夫 (OHSAWA Kazuo)
対象クラス	制御情報工学科5年
単位数	2学修単位
必修/選択	選択
開講時期	前期
授業区分	
授業形態	講義(演習含む)
実施場所	情報センター演習室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)
 コンピュータが出現する以前より、記録・ファイル・資料・文献等々の形で資料室または図書室等に蓄積されていた情報をコンピュータで取り扱えるようにしたものをデータといい、これを処理するプログラムとは切り離して、データを独立させたものをデータベースといいます。このデータベースから抽出した必要なデータすなわち情報の加工・処理方法の仕組みを理解させる

準備学習(この授業を受講するとき前提となる知識)

マイクロシステムのアクセス、エクセル等MS-Access MS-excel

Weight	目標
	A 工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
◎	B 社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	C 工学専門知識の創造的活用能力の養成
	D 国際的な受信・発信能力の養成
	E 産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

C:工学的な解析・分析力、及びそれらを創造的に統合する能力

学習・教育目標の達成度検査

データの効率の良いデータベースへの登録、更新、加工方法についてSQL言語をとおしてひとつのアプリケーションの操作法を演習しながらデータベースを体験させデータ処理の具体的な操作による結果をファイル登録できる。

授業目標

コンピュータが出現する以前より、記録・ファイル・資料・文献等々の形で資料室または図書室等に蓄積されていた情報をコンピュータで取り扱えるようにしたものをデータといい、これを処理するプログラムとは切り離して、データを独立させたものをデータベースといいます。このデータベースへのデータの出し入れとデータベースから抽出したデータすなわち情報の加工、処理方法の仕組みを理解できる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	後期オリエンテーション	データベースとは何か 1. データ管理こそデータベースの要件	
第2回		2. データベース管理システム (DBMS)	
第3回		3. データベースの操作 4. 重要な機能	
第4回		RDBMSの基礎 0. データベースの歴史	
第5回		RDBMSの基礎 1. データベースの作成	

第6回		1. アクセスでSQLを実行データの取り出し : エクセルによるデータ処理(SUM)	
第7回		2. アクセスでSQLを実行データの取り出し : エクセルによるデータ処理(VLOOKUP)	
第8回		3. アクセスでSQLを実行データの取り出し : エクセルによるデータ処理(ピボットテーブル)	
第9回		4. アクセスでSQLを実行データの取り出し : エクセルによるデータ処理(表引き)	
第10回		5. アクセスでSQLを実行データの取り出し : エクセルによるデータ処理(表引き)	
第11回		6. 項目名の変更 : エクセルによるデータ処理シナリオ	
第12回		7. テーブルの別名指定 : 標語の付加	
第13回		8. データを追加する : DSUM関数	
第14回		9 データベースのまとめ	
第15回		データベース試験	×

課題

課題：ホームページで出題

提出期限：出題した日

提出場所：各自のURL(こちらの指定アドレス)

オフィスアワー：メールによる

評価方法と基準

評価方法：

授業中の演習課題の平均成績を80%、期末テストを20%として評価する。60点以上を合格とする。

評価基準：

前期試験○%、後期試験●%、課題レポート□%、自己評価△%、授業態度(ノート検査等)▽%、欠席減点▲%

教科書等	SQLがわかる(技術評論社 小野、天貝、佐野、鈴木共著)
先修科目	
関連サイトのURL	http://www.asia.microsoft.com/japan/office/access/prodinfo/default.aspx
授業アンケートへの対応	画像情報を多くして理解し易くする。
備考	授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。